疾患別診療計画書

頸椎後方除圧術を受ける方へ①

社会基本	人配	Sal	5 e	ika i	Uts	unor	niya	Hosi	oita
恩賜	:3	5,1-	+	\triangle	÷	# 17		宝	R≐
財団	<i>/F</i>	1=	ᆮ	쯔	7	181	6	끼짓	ועין

			財団 海土云十都名内				
経過	入院	術前日		術日 │	1日目	2日目	3日目
治療薬剤		外来で麻酔科受診が済んでいな い方は 診察があります	術前から点滴を入れます(午前中手術予定の方は手術室で入れます)	手術後、帰ってから5時間酸素を	食事が取れれば点滴を抜きます 抗生剤の点滴を2回行い		
薬剤 (点滴.内服)		21時に下剤の内服をします		します 帰室後、1回抗生剤の点滴をします	ます(2日間)		
検査					採血を行います 🖅		
処置		後頚部の髪の毛をそります 下剤の内服があります	前開きパジャマに着替えます	痛みが強い時は我慢せずに看護師にお知らせください 看護師にお知らせください 創部にドレーン(貯留液を抜く管)		適宜、医師により傷 術後2日目以降に持 せてドレーンを抜き	非液の状況に合わ ます
			キングをはきます	が入ってきます		歩行出来ればスト	ッキングは除去しま
食事 (栄養士による 指導も含む)	症状に合わせて食事を出します アレルギーがありましたら看護師 にお伝えください	21時以降は食べ物を食べることは出来ません	飲水は3時まで可能です	吐き気がなければ帰室5時間後飲 水可です	吐き気がなければ朝から 食事が食べられます 症状に合わせて食事を出し	ます	
安静度	特に制限はありません			手術後はベッド上安静になります	病棟内歩行可能です(痛くない範囲で行いましょう)		
X 87 1X	141-141-141-141-141-141-141-141-141-141			頭を30度だけ起こせます	痛みの範囲に応じて歩行 器・車椅子を使用します		
リハビリ	横前からリハビリが介入します				必要時理学·作業療法士	によりリハビリテーシ	ションが始まります
清潔	制限はありません	シャワー浴をします	朝、洗面、歯磨きは行ってよいで すただし水は飲まないようにして ください		タオルで体を拭きます傷の テープが外れるまで頭は 洗えません		
排泄			(場合により病棟で尿管を入れます)	排尿は管が入っているためベッド から降りる必要はありません 大便はベッド上で排泄していただ きます	排尿の管を抜きます 管が抜けてからはベッド上・ トイレまで歩行し、排泄でき	で便器又は尿器を使 ます	用します
	パジャマ(そのうち1組みは前開き 手術時にはく弾性ストッキングの・ リハビリ用の靴を準備して下さい	のもの) ナイズを測ります					
ご家族 への説明	 ◎手術について医師から説明がありま ◎看護師から入院生活についてと手術 ◎薬剤師が薬について説明します(術育 ◎レンタルパジャマやクリーニング利用 ◎主治医からの治療の説明があります何か不明な点がありましたら遠慮せず! ◎術後状態が安定したら、退院支援強 	ださい 前の説明があります f、後) 希望の方は、看護師へお伝えください こ声をかけてください		主治医より術後結果の説明手術 が終わった時点でご家族に手術に ついての説明を行いますご心配な 点や不安なことがありましたらご相 談ください			
看護		手術について不安な点がありま したら看護師にお申し出ください		痛みが強い場合は、痛み止めを使 ので、お申し出ください	歩行状況に応じて、車椅子	や歩行器をご用意し	いたします

頸椎後方除圧術②

経過	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目	11日目	12日目
治療薬剤(点 滴.内服)					10日目~退院または転院				
検査		医師の指示により採血とレントゲン撮影を適宜行			います				
処置	適宜、傷の消			傷の抜糸をます	の抜糸を行ないます 傷のテープをはがし す				
食事(栄養士による指導も含む)				_ 🐔_					
安静度				5					
リハビリ									
清潔		医師の許可でシャワーが行えます				入浴が可能になります			
排泄									
準備物品									
患者様及びご 家族への説明				シャワー浴・入浴の方法を説明します					
看護						退院について	不安な点が	^{ずありましたら} 、お	申し出ください